

シリーズ・漁業者の取組

～漁業者と目指す豊かな海づくり～

「獲れる魚が少ない」「魚価が安い」「船の燃料が高い」・・・日本の漁業はあまり良い健康状態ではないようです。今号では、「それじゃいけない!」「自分たちの手でなんとかしたい!!」と考え、様々な取組を行っている漁業者にスポットを当ててみました。

漁業者を対象としたアンケート調査を実施

↓交流大会の様子

兵庫県漁協青壮年女性交流大会にて

「産卵場」「放流保護」などが必要であるという意見が多く見られ、魚介類の減少を多くの漁業者が実感しており、なんとかして魚を増やしたいという思いが結果として現れていました。

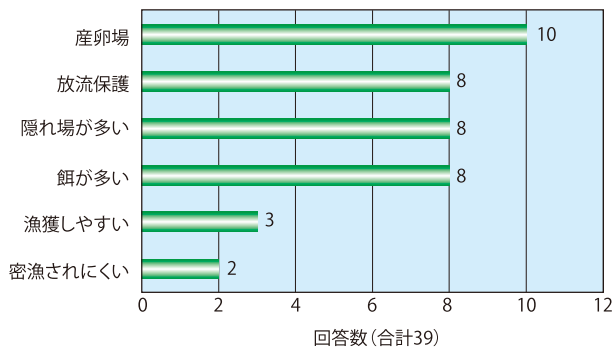
JFシェルナースについては、「貝殻の利用」と「隠れ場」が高い評価を受けました。

回答者:39名



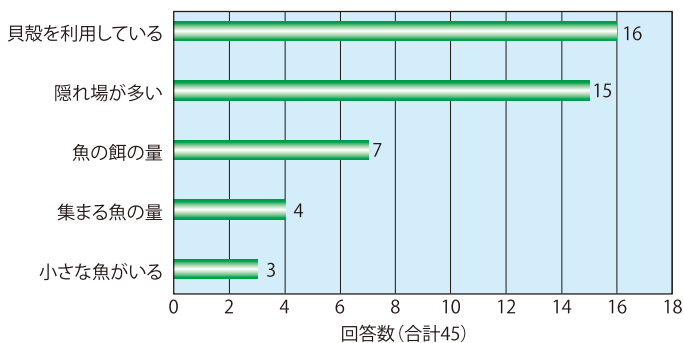
なんとかして魚を増やしたい!!

今後どのような漁場が造成されると良いでしょうか？



貝殻利用が高評価!!

JFシェルナースについてよいと思われる点は？



佐世保市相浦漁業協同組合青年部研修会にて(長崎県)

↓見ていただいた調査映像

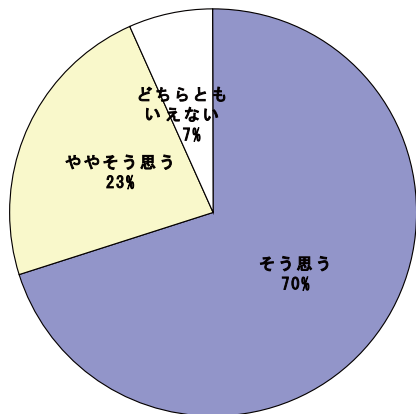
こちらでもやはり水産資源の減少を実感している旨の回答がほとんどで、漁業者は皆、この状況をなんとかしたいと考えています。

JFシェルナースについては、地元での調査映像をみていただいたこともあり、集まる魚の多さを高く評価していただきました。

回答者:31名



資源の減少を実感!!



集まる魚の量が高評価!!

JFシェルナースについてよいと思われる点は？

